

## 三沢市立三沢病院での外科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5年 実習生

クリクラ I の一環として、5月下旬からの1ヶ月間、三沢市立病院の外科で実習をさせていただきました。三沢病院では手技の機会が多いという話を事前に聞いており、大きな期待と少しの不安を抱きながらのスタートでしたが、実習初日から外科チームの一員として迎え入れていただき、すぐに安心して実習に臨むことができました。

朝の回診では、ドレーン抜去や抜鉤といった基本的な処置を実際の患者さん相手に行わせていただきました。一見シンプルに見える手技であっても、手順や注意点、器具の扱い方に細かな工夫と意味があることを学び、これまで「見学」していたときには気づけなかった視点に気づくことができました。

手術では、腹腔鏡のカメラ持ちや縫合、結紮といった経験をさせていただき、術中に見える構造や器具の扱い方を間近で学ぶ貴重な時間となりました。カメラ操作では、先生方の視野を正確に保つことの難しさを痛感し、自分の動作一つが手術全体の流れに影響を及ぼす緊張感のなかで、手術チームの一体感を体感しました。また、先生方からの指導は非常に丁寧で、技術だけでなく考え方や姿勢についても多くの学びを得ました。

病院全体として、医師のみならず看護師さんや事務の方々も気さくに声をかけてくださり、実習生に対する温かい雰囲気がとても印象的でした。昼食の場や医局での何気ない会話も、学生として貴重な時間であり、医療現場に溶け込む感覚を味わえました。

今回の三沢市立病院での実習を通じて、「手を動かすこと」の大切さと、それに向けて自分に何が足りないのかを見つめ直す機会となりました。知識だけでは到底太刀打ちできない現場の難しさを肌で感じ、今後の実習や研修への取り組み方も大きく変わると思います。最後になりますが、お忙しい中ご指導くださった池永先生、米内山先生、梅村先生、甲地先生をはじめとする外科の先生方、研修医の先生方、病棟や手術室のスタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。1ヶ月間、本当にありがとうございました。



実習期間：2025.5.26~2025.6.20